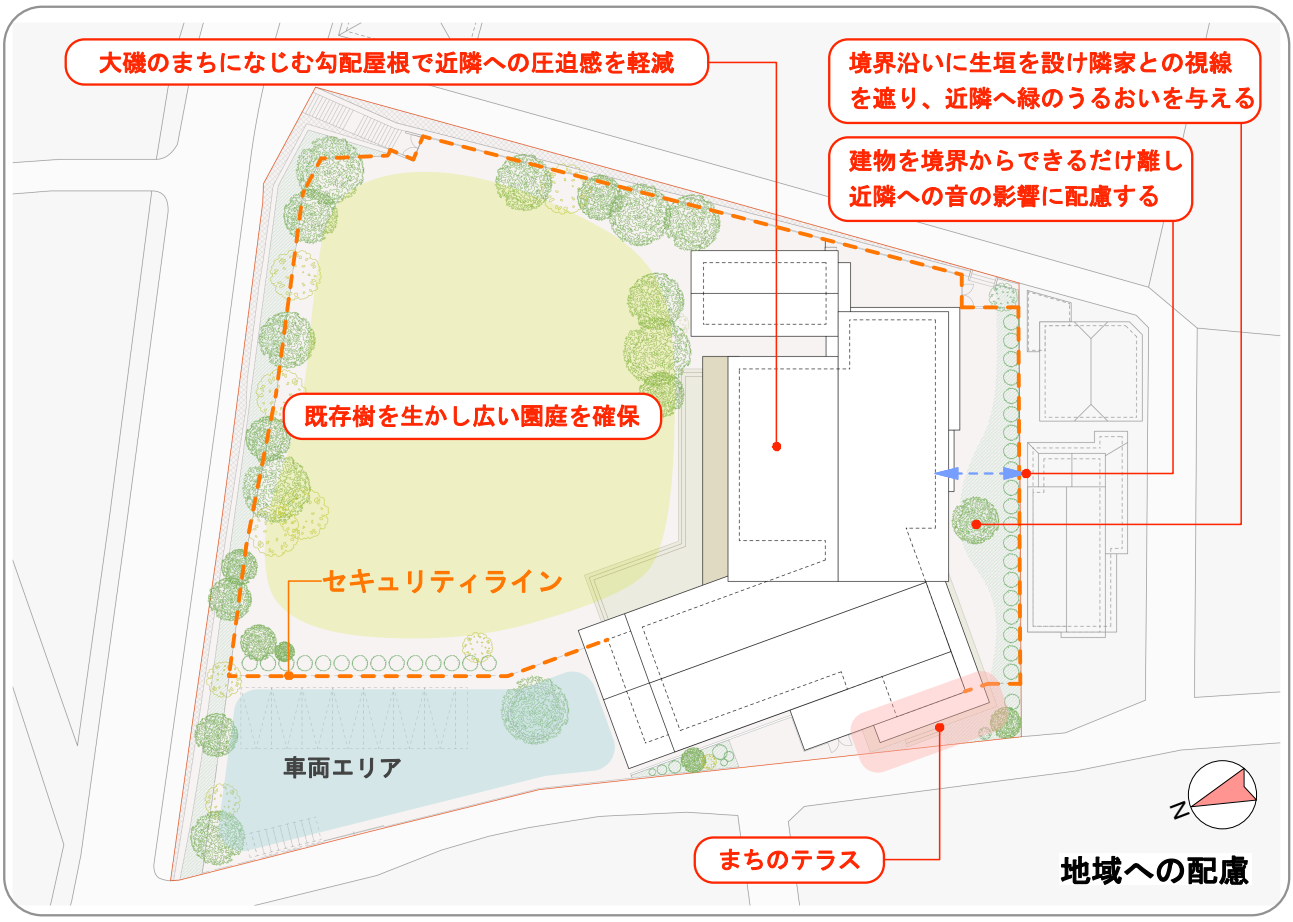
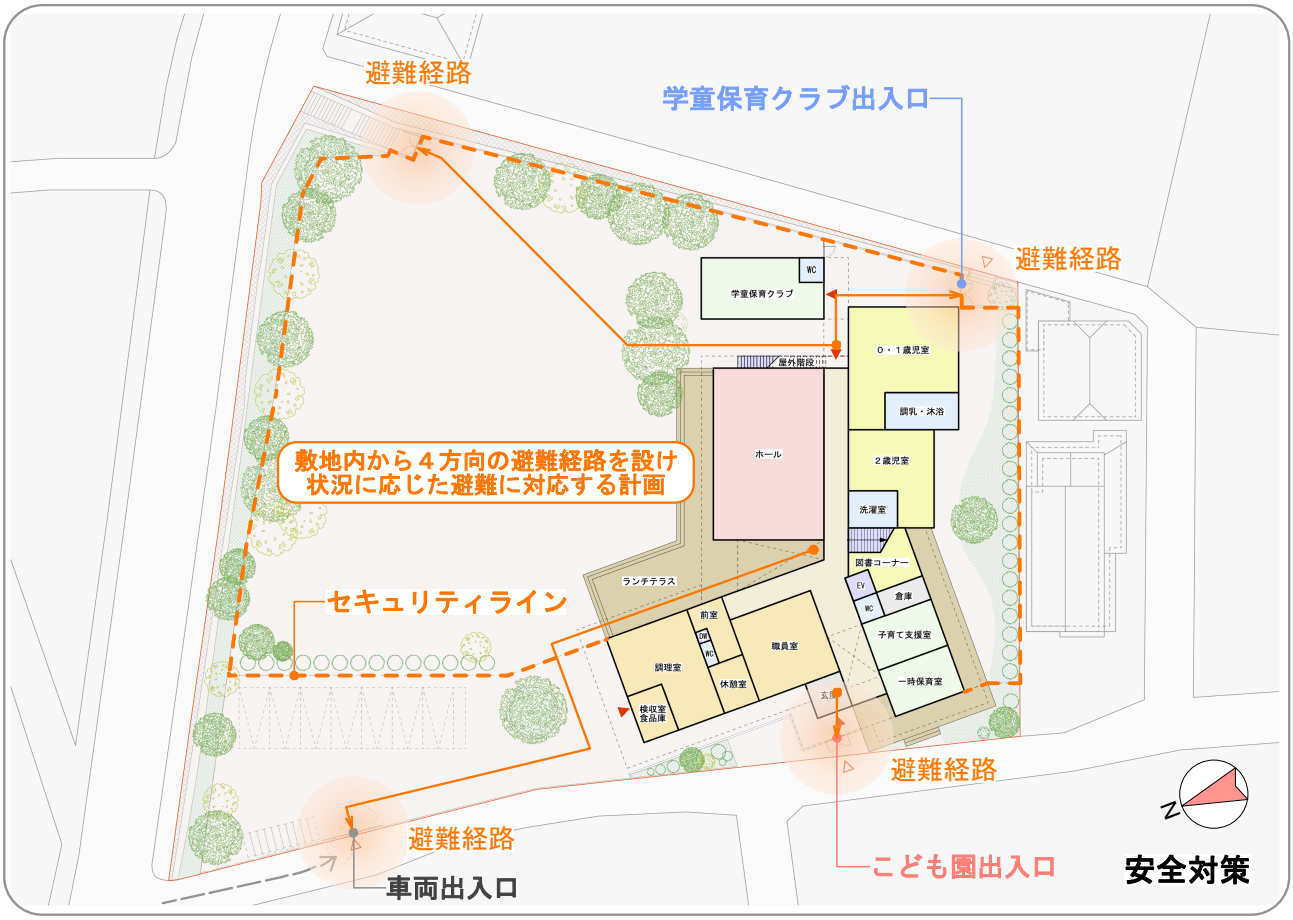
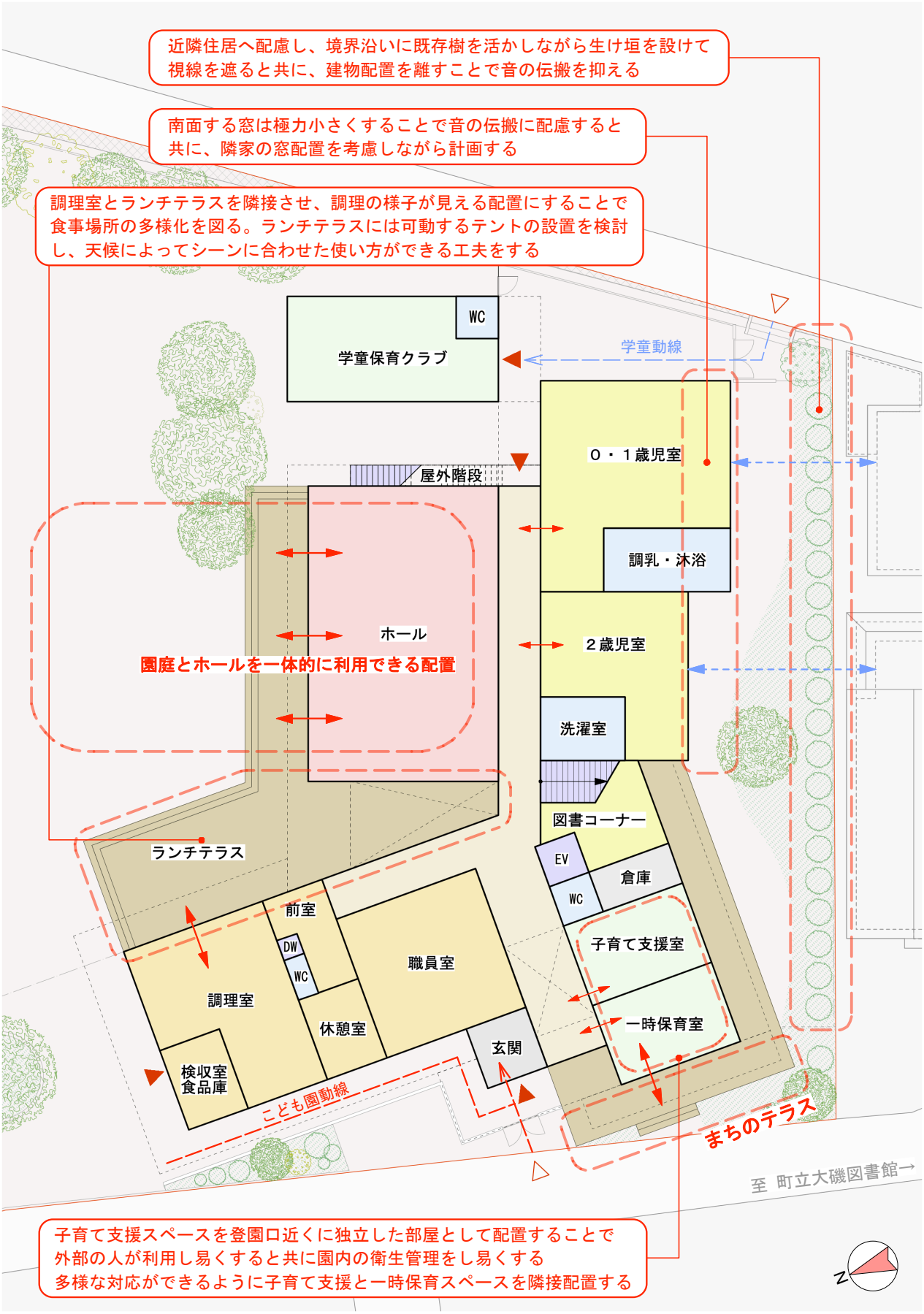
施設整備計画　全体配置図

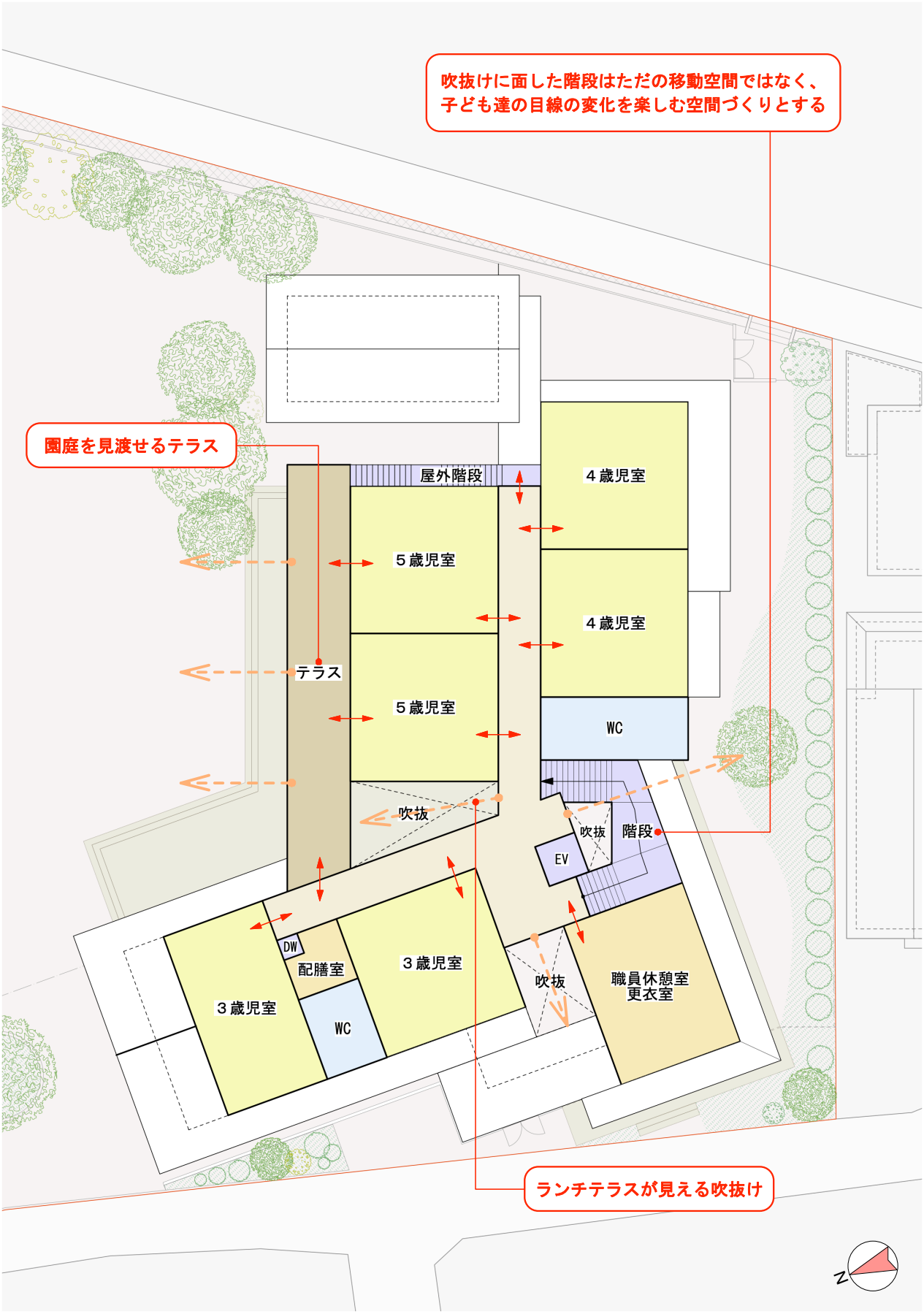




施設整備計画　1階平面図



施設整備計画　2階平面図

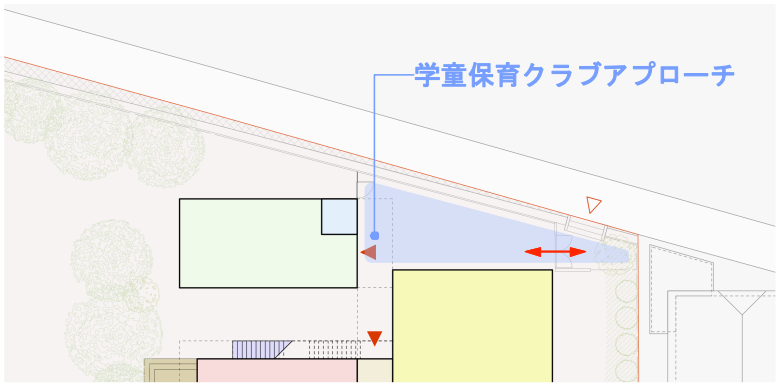


施設整備計画　地域との接点

『まちのテラス』園の玄関口には地域に開放されたテラスを設け、気軽に交流できる場とします.

こども園出入口

車両エリアと歩行者のエリアを明快に分離する事で事故の無い配置とします。また、道路からセットバックしてアプローチを設ける事で登降園の混雑する時間帯にもゆとりのある送迎スペースを確保します。



学童保育クラブ出入口

こども園のエントランスとは別に学童保育クラブのエントランスは車両の通り抜けの少ない敷地東側とします。こども園とエントランスを分離して設ける事で、降園時などの動線と交錯しない配置計画とします。

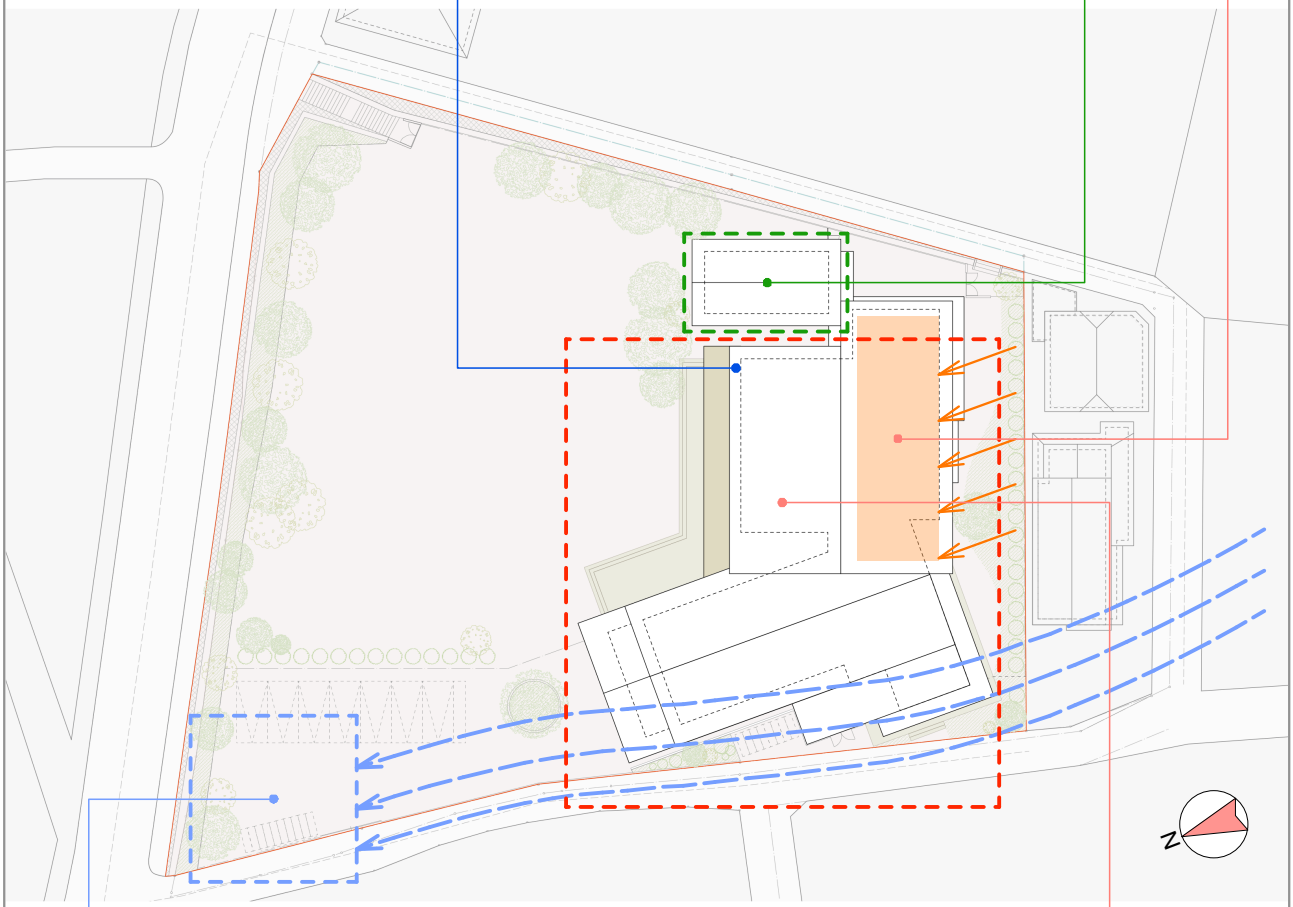
施設整備計画　環境に配慮した取組み等

［環境負荷の低減、自然エネルギーの利用、エネルギー・資源の有効活用］

太陽光エネルギーの利用
・太陽熱を利用し給湯負荷軽減及び冬場の床暖房に利用
・太陽光発電と蓄電池利用(EV車からの給電等)システムを採用し、日常の電力量低減と共に緊急時の電源として利用

建築資材の木質化
・別棟とする学童保育クラブは木造を検討する
・再生可能資源である木を使用することで、脱炭素社会の実現に貢献

水資源の活用
・雨水タンクを設け、日常の散水や非常時に活用する



風力エネルギーの利用
・小規模の風力発電設備を採用し、環境教育及び日常電力量の低減を図る

環境負荷の低減
・北面の安定した採光による照明負荷低減、重力換気・通風を利用し中間期の空調負荷を軽減
・各居室には熱交換型換気扇を採用し、夏季・冬季の空調負荷を軽減
・南面に大きな庇を設ける事で夏の強い日差しを制限し、空調負荷を軽減